

岐阜県立八百津高等学校

学 校 長 高木 久美
学校住所 加茂郡八百津町伊岐津志 2803-6
電 話 0574-43-1231
F a x 0574-43-3918

- 1 会議の名称 平成28年度 第1回 八百津高校を育てる会・学校評議員会
- 2 会議の構成 委 員 金子 政則 八百津町町長（育てる会）
堀部 義郎 八百津町教育長（育てる会）
林 善次 八百津高校同窓会会長（育てる会）
榊間 誠 八百津中学校校長（育てる会）
浅野 知子 八百津東部中学校校長（育てる会）
神谷 一久 神合技研社長（学校評議員）
和田 義昭 コミュニティーセンター館長（学校評議員）
洞地 里美 錦津保育園園長（学校評議員）
各務 博紀 八百津町商工会（学校評議員）
伊藤 忍 八百津高校PTA監事（学校評議員）
学校側 高木 久美 校長
工藤 敏郎 教頭
三宅 克典 事務長
兼松 義治 教諭（教務主任・中高連携コーディネーター）
服部 幹和 教諭（生徒指導主事）
志比 顕秀 教諭（進路指導主事）
- 3 会議の目的 八百津高校を地域から信頼される、より魅力的で活力ある学校にする。
- 4 会議の開催 平成28年8月25日（木） 9:00～10:30 八百津高校会議室
委員10人と学校側6人が出席
- 5 会議の概要
 - (1) 挨拶(校長・八百津町町長) 評議員委嘱 9:00～
 - (2) 日程説明(教頭) 9:05～
 - (3) 学校現況報告 9:10～
 - 「八百津高校のキャリア教育」プレゼンテーション
 - 学校現況報告
 - ・学校運営について（教務主任）
 - ・生徒指導について（生徒指導主事）
 - ・進路指導について（進路指導主事）
 - ・連携型中高一貫教育について（連携コーディネーター）
 - ・部活動、その他（教頭）
 - (4) 質疑応答・意見交換 9:50～
 - (5) お礼の言葉(校長) 10:25～
 - (6) 事務連絡

ご意見・ご感想

【教務関係】

- ・ 八百津高校の4つの特徴「デュアルシステム」「連携型中高一貫教育」「一人一人を大切に
する指導」「地域連携」の中でも、今年からの取組であるデュアルシステムをさらに強調し
てほしい。

【中高連携関係】

- ・ 中高連携では八中に来る3名の高校の先生が、昨年度以上に中学生に寄り添い目線を下げて
指導してもらえ有り難い。チャレンジファイルチェックの復活も助かっている。
- ・ 八中から八高への進学者はH27・38名からH28・24名に減っているが、生徒数自体
が減っているためどちらも約3割で同程度と考えている。
- ・ 中学でも教育相談的な生徒指導を進めているので、八高の生徒指導とも同じような形で安心
できる。
本年度の高校見学では本中学卒業生の語りがあり、昨年度の高校見学より評判がよかった。
- ・ 夏休みの実力養成セミナーを中学校でやっていただき有り難かった。セミナー後の生徒の感
想にも「本当の高校入試の問題が分かった」「説明も分かりやすくて有り難かった」という
声があった。
- ・ 交流授業では、わざわざ行っているT2の役割を明確にしてほしい。

【生徒指導・教育相談関係】

- ・ 寄り添い指導で「1学期の退学者ゼロ」が素晴らしい。丁寧な少人数指導や生徒の自主的な
活動を支える支援の効果といえる。

【進路関係】

- ・ デュアルシステムについても帰りのバスの中で保護者同士の話題になっていた。
- ・ 昨年八百津高校を卒業して町役場に就職した生徒に町であったとき、「まち会で八百津高校
に行って来ました。」と教えてくれた。他にも社会協議会などいろんなところで八百津高校
の卒業生に会うことが増えている。今後も続けて採用していただくと有り難い。
- ・ デュアルシステムの参加者を本年度の15名から少しずつ増やしていけると、離職率の低下
などにも好影響になると思う。
- ・ 商工会として会に参加しているが、地元で商売する者にとってデュアルシステムには興味があ
る。地域の発展につなげるためにも、地元の企業の雇用にも上手につなげていきたい。
- ・ デュアルシステムで生徒を受け入れているが、よくやってくれるので「就職する時の選択肢
のひとつに」と本人には話している。デュアル実習生の頑張る姿が、他の社員たちの刺激に
も結びついている。デュアル実習生の姿をみても、八百津高校では個に応じて丁寧に指
導されていることが伺える。
- ・ 我々もそうだったが、どんな仕事に就くにも不安がある。八百津高校のデュアルシステムで
実体験をもとに自信をつけて社会に出て活躍して欲しい。

【渉外関係】

- ・ 八百津町のために貢献していただいている八百津高校に感謝。（例えば地元のコミュニティー
センターでの夏祭りボランティアやリトルティーチャー、他にも町サマーフェスタでのカ
ヌー・ボート体験での40名のボランティア、花火の後の小中高が一体となったクリーン大
作戦）
- ・ サマー学習での高校生に感心。事前の打ち合わせを理解して、支援の先生と役割分担してう
まく活動してくれた。
- ・ 夏祭りではボランティアとして八百津高校生が参加し元気な声を出してくれたことで活気が
出て有り難かった。学校と地域の連携が深まった好例だと思っている。

6 会議のまとめ

中高連携、進路関係（デュアルシステム）、地域連携（ボランティア活動）等への意見が多く聞かれた。中でもデュアルシステムに対する意見が多く、今年度から本格実施の取組に対する関心と期待の大きさが伺えた。

さらに、企業実習などで地元の高校を支えていきたいという意見や、ボランティア活動など地域の活動に協力する高校生の姿がありがたいという嬉しい意見も多く聞かれた。

八百津高校が地域の方々にしっかりと支えられていることを全職員・全校生徒が再確認し、感謝の思いをもちながら、今後も保護者や地域の皆さんと連携を深めながら学校教育を推進していく必要性を実感した。